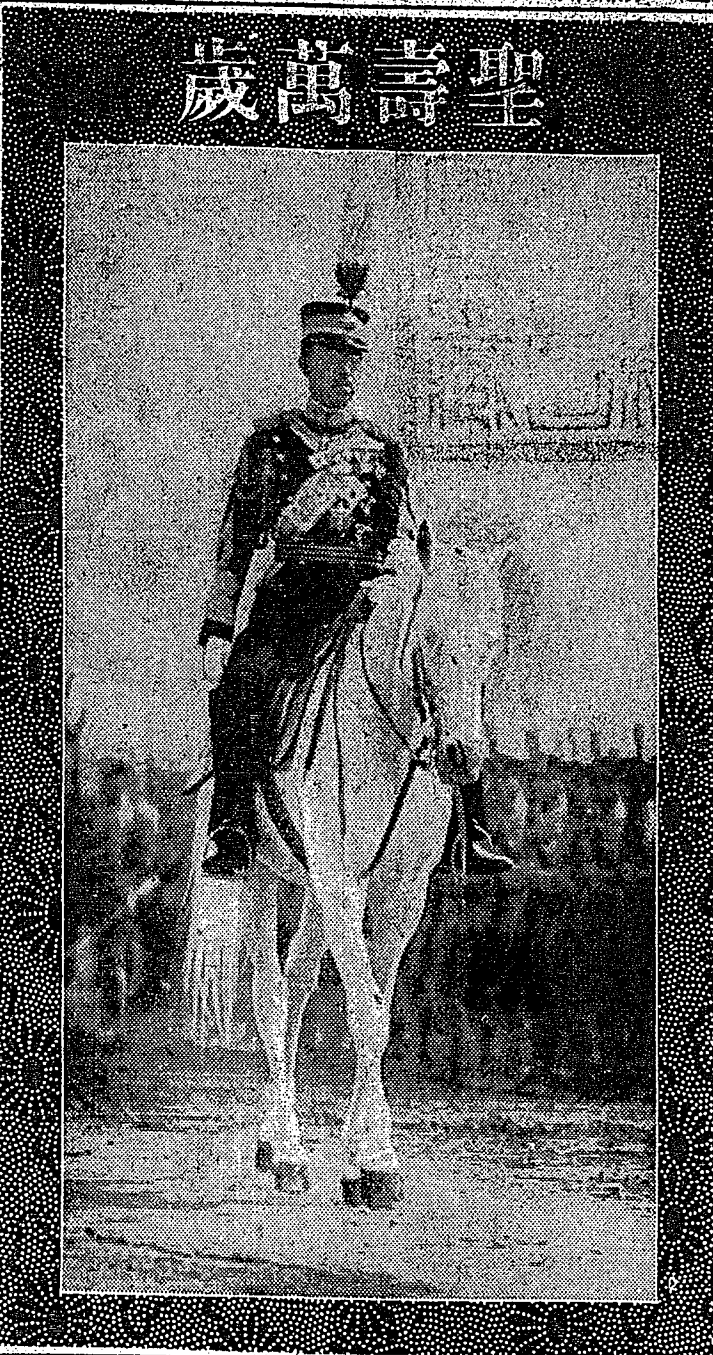
臺灣日日新報

發行兼編輯人 佐々木充

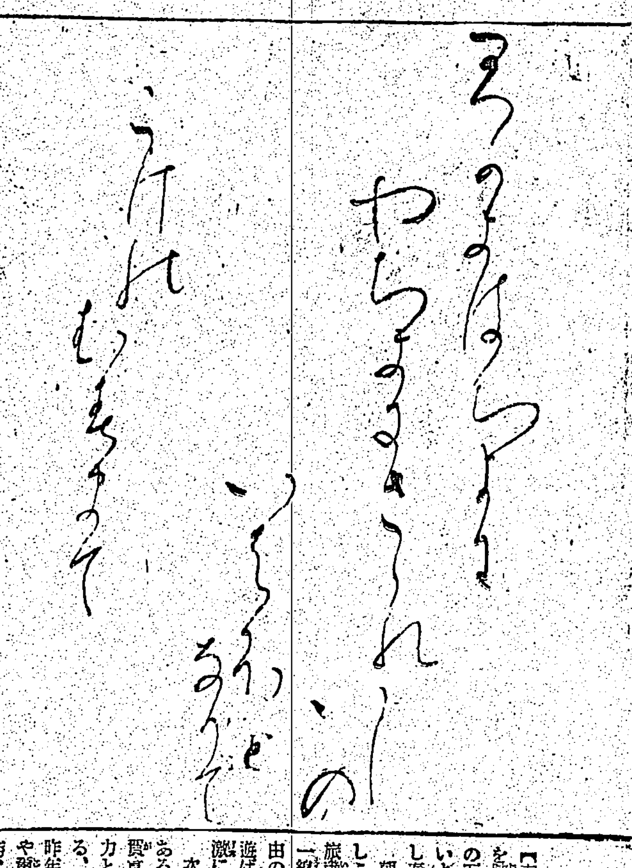
本日二十四頁
本號定價 一部金十二錢
郵稅一錢五厘

聖壽萬歲



妖雲を一掃 平和の確立へ
この使命達成を誓ふ

この元旦は、考へ様によつては日本開闢以來の非常に意義深い新年であることを知るのである。支那事變勃發して、未だ半歳に充たぬのに、帝國の國威はいよ〳〵中外に輝き、殊に吾が皇軍は支那の首都以下、主要地域を占領し、其の武威は、今次事變を通じて新たなる世界の驚異となり、今や各國人の對日本觀を修正せしめつつある。かくして帝國は、"東洋平和"確保の當の責任者として改めて國際に闡明を得、又は得んとしてある。[illegible]



只、前進あるのみ
平和的難關突破には全機能の動員が必要
内閣總理大臣 公爵 近衞文麿

先づ新年の初頭に方り、國民諸君と共に謹で聖壽の万歲と皇室の御繁榮を御祈り申上げる。

昭和十三年は、明治維新、日清戰爭の當時にも増して日本にとりて意義重大なる年である。[illegible]

[illegible]（寫眞は近衞首相）

神苑のあした（勅題に因みて）

斷乎、萬難を排し 聖戰の目的達成へ
"躍進臺灣の原動力"を培へ
臺灣總督 小林躋造

茲に昭和十三年の新春を迎ふるに當り、闔島官民と共に遙に[illegible]聖壽の万歲を祈念致したいと存じます。

[illegible]（寫眞は小林總督）

陣中に新春を迎へて
聖戰の大業は今年更に進展
陸軍大將 松井石根

【南京發同盟】昭和十三年の新春を陣中に迎へてうや〳〵しく聖壽の万歲を祝福し奉り、[illegible]

北支の山川は新瑞祥を呈す
陸軍大將伯爵 寺内壽一

【天津發同盟】[illegible]

米國の極東への關心
東大教授法學博士 高木八尺

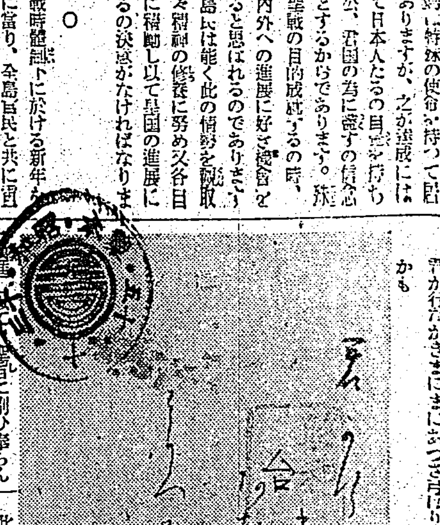
一

先づ過去を回顧をして見れば、米國の極東への關心を從來最も端的に現はし來つたものは、「門戶開放主義」の主張であつたと云へると思ふ。[illegible]

此樂土に偸安を許さず
決意を新たに……
總務長官 二見直三

[illegible]

若山喜志子 華



戰勝にあけて めでたき宮中の春

【御寫眞、上は皇后陛下】

嚴かな元旦の御儀
四方拜、歲旦祭の御後 拜賀を受けさせらる

戰勝に明けてめでたく迎へた昭和第十三番の瑞氣漲き大內山は瑞祥に滿ちて和やかな元旦、畏くも 天皇陛下には未明 四方拜の御儀を行はせられる、黃櫨染御袍の御束帶を召された御姿神々しき 天皇陛下には早旦庭燎映ゆる午前五時半賢所神嘉殿の南庭に出御、脂燭ほのかに搖らぐなかに、御笏を正させ給ひて伊勢神宮を御遙拜、次いで畝傍山陵、多摩御陵を始め各山陵、天神地祇を御遙拜、寶祚の御榮帝國の隆昌、特に東亞の和平克服と皇軍の武運長久を御祈念遊ばすと承はるは恐懼の至りである、次いで午前五時四十分賢所、皇靈殿、神殿にも御親拜、歲旦祭の御儀を行はせられる、かくて 陛下には御正裝に御召替、午前八時鳳凰間に出御、新春を壽がせられて古式床しき晴御膳の御儀あり、大奧にて皇后陛下 皇子御方と御祝盃等を御祝ひ遊ばされ大奧の御まどひ目出度く新春を壽がせられるが、更に午前十時 天皇陛下には御正裝に各種勳章 御佩用、皇后陛下にはマントー・ド・クールの御洋裝を召され、學習院から選ばれた公達御裾を捧持して鳳凰間に出御、秩父宮、高松宮同妃、三笠宮各殿下を始め御在京各皇族方に御對面、年頭の御祝詞を受けさせられ、次いで正殿に出御、近衞首相以下文武官等の拜賀を受けさせられる、午前十一時再び正殿に出御諸臣の拜賀を受けさせられ、午後一時半豐明殿に出御、白國大使バツソムピエール男を始め各國大公使同夫人等の拜賀あり、めでたくうちにも御多忙の一日を過させられる

【御寫眞は皇太子殿下】

陽春四月から 幼稚園へお通ひ
御健やかな皇太子樣

皇太子殿下には赤坂東宮假御所に初の新年を迎へさせられ、御年六歲を算へさせられた、幼稚園の御學齡に達せられ陽春四月頃には目出たき着袴の御儀を擧げさせ給ふ御豫定と承はる、元旦には御所にて石川傳育官を始め側近者等の拜賀を受けさせ給ふが、御所御車寄には特に御帳の御用意もあつて有資格者の參賀も御受け遊ばされる、來る三日元始祭の佳辰には初御參內天皇 皇后兩陛下に御對面、年頭の御祝詞を交はさせ給ふ、九日頃からは葉山御用邸に行啓、嚴冬の間を同御用邸に過ごされ四月女子學習院の新學期からは殿下御誕生の昭和八年に生れた華族の公達の中から御相手が決定されて御所に伺候、殿下にも園兒達と幼稚園の課程を御經驗遊ばすことになつた、選ばれた光榮の園兒達は二年の後初等科に御修學の後は永く御學友として御勉學の御相手を申上げる筈である、かくて殿下の御將來慈愛の御月出度く、側近者一同は御喜び深き此の新春を赤誠こめて御祝ひ申上げて居る

產業的使命を達成すべく計畫
農林省との折衝經過 卅一日森岡長官語る

臺灣米穀管理案

本島における產業經濟に劃期的轉換を齎すべき臺灣米穀管理案の立案に就て農林省との折衝經過につき森岡總務長官は三十一日午後左の如く語る

臺灣米穀管理案は中央と折衝中でありましたが管理米の販賣方法に關し農林省との間に意見の一致を見る事に至つたので之を中心に同じ調査研究する事となり本案を今議會に提出することは遺憾乍ら之を見合すことになつたのであります

抑々總督府に於て米穀管理を計畫するに至つたのは最近の臺灣經濟の狀況が米穀統制の强化以來著しく內臺經濟に關連する產業的用務に期待さるべき國家的有用作物の栽培を困難ならしむるのみならず臺灣產業今後の進路たる農業の多角化を阻み甚いては產業工業化の有利な條件を惡化せしめ臺灣經濟全般の綜合的發展を阻害しつつあるを認めまして此の跛行現象を速かに矯正し臺灣產業經濟の調和的發展を圖り、臺灣の產業的使命を遂行せんが爲めに米穀管理を實施せんとしたのであります

所で本島に出たのであります、から米穀管理收入は悉く之を島內に還元して產業の基本施設實に充當し島民の福祉に寄與し產業の今後の飛躍に備へんとするのであります

米穀管理の具體的內容に關しては未だ發表の時期に至つて居りませんが一言にして之を申しますと移出米の專賣を主たる內容としたものでありまして、之が大綱は既に內務議會に於て之を決定し、其の後綿密周到な計畫を進め農林省とも折衝して居りましたが之が實施期は昭和十三年二期米よりとなし、爾後遂行諸般の準備を急ぎ今秋以來拓務、農林兩省と折衝致して居りましたが拓務省は勿論農林省に於ても本案の趣旨には異存なきも、管理米の內地市場に於ける販賣方法に關し農林省との間に意見の對立を來し兩者より各種妥協案が提出せられましたけれども最後に至るまで意見の一致を見るに至らず既に豫算編成期も僅目なきを以て遂に十二月二十五日拓務、農林兩大臣の會見により管理米の販賣方法は今後兩係省局間に於て更に調査研究することになつたのであります

以上の如き事情でありまして關係者間に於て引續き調査研究をなして成案を得るに努力する豫定でありますが、島民各位に於ても此の際本案の根本趣旨を諒解せられまして徒らに經濟變動を懼るることなく總督府の政策に信倚し臺灣の產業的使命達成に協力せられん事を望む次第であります

『沖繩縣を督府の管轄に』
中央での叫び、考へて見よう 森岡長官那覇で語る

【那覇三十一日發本社特電】森岡總務長官は那覇飛行場で左の如く語つた

先に當地官民に話題を提供した沖繩縣と臺灣は總ての點でよく似てゐるから沖繩縣を總督府の管轄にして今迄政府から出した補助金を總督府から出したらとの件が中央で一部の人々の間で叫ばれてゐるやうだ、之に付ては總督府としても考へて見たいと思つてゐる

外地豫算

【東京三十一日發同盟】各外地昭和十三年度豫算は三十一日左の如く決定した(單位千円)

△朝鮮總督府

歲入	經常部	三五九、四四一
	臨時部	一四八、三三
計		五〇七、七七四
歲出	經常部	二九八、八〇〇
	臨時部	二〇九、三七四
計		五〇八、一七四

△臺灣總督府

歲入	經常部	一三一、八〇〇
	臨時部	二七八、四〇〇
計		一三一、五三二
歲出	經常部	一三一、八〇〇
	臨時部	二七、八〇〇
計		一五六、二二

△樺太廳

歲入	經常部	三七、四〇〇
	臨時部	二、三三〇
計		三九、七三〇
歲出	經常部	二〇、二六八
	臨時部	一七、四六六
計		三七、七三四

△南洋廳

歲入	經常部	八、九六七
	臨時部	四四六
計		九、四〇三

日伊通商協定に調印
新春匆々批准を經て效力發生
外務當局談發表さる

【東京三十一日發同盟】日伊兩國間の通商條約追加協定は堀田駐伊大使、チアノ外相間に三十日午後六時三十分ローマにて正式調印を見たので外務省では三十日午後十時左の當局談を發表した、尙同協定は來春匆々の樞密院本會議に上議、批准を經て效力の發生を見ることとなつた

外務當局談

嘗て帝國と伊國政府との間に交涉中の日伊通商條約追加協定は最近妥結を見るに至り十二月三十日ローマで帝國全權委員たる堀田大使とイタリー國全權委員との間に調印を了した、本協定は昭和十一年十二月帝國政府がエチオピアにおける帝國公使館を廢止し、その代りにアヂス・アベバに領事館を設置したのに胚胎したものである、即ち當時國政府は帝國政府に對しエチオピアにおける通商等に關する帝國の利益を尊重し右に對し特に好意的考慮を加ふる旨言明したので帝國政府はエチオピア帝國との修好通商條約に依り有した諸權益を確保する目的を以て伊國政府に對し通商取極の締結を提議した所、伊國政府は欣然之を應諾し爾來杉村前大使堀田現大使は伊國外務當局とローマで折衝を續け來り今般円滿妥結を見たものである、元來現行日伊通商條約(大正二年六月一日公布)は伊國側では本國のみ適用し居り、そのため植民地たるリビア、エレトリア及び伊領ソマリーランドと屬地たる伊領多島海諸島と本邦は無條約關係だつたものである、然るに今回前記エチオピアに關する通商取極で締結交涉中日伊通商條約の適用を獨りエチオピアにのみ擴張するよりも寧ろエチオピアを含む伊領植民地及び屬地全部に擴張しようといふことに話が纏つたのである、処で日伊條約中にはその儘伊領植民地に適用しがたい規定あるので植民地の實情に添ふやうに條約文に適當な變更を加へた次第である、尙右變更以外に重要なのは現行日伊通商條約は一ケ月の豫告で何時でも廢棄し得る狀況にあるのを本協定と共にその有效期間を三年に延長して直ぐには廢棄出來ぬやうにすると共に爾後一年宛延長し得ることにした點と帝國が滿洲國に與ふることあるべき關稅上の特惠を最惠國待遇の除外例として新にイタリーに認めた點であつて、右の二點は日伊一般の見地から言つて特に重要な點であるが、イタリーでは伊領東アフリカと併せてエチオピアはエレトリア、伊領ソマリーランドの一植民と併せて交涉してゐるがエチオピアにつきイタリーと通商條約を締結したのは既にドイツがあり今我が帝國があるのみである、日伊兩國は政治方面に於ては既に日獨伊防共協定の成立に依り緊密なる關係に起つやうになつたが今亦通商方面において新協定の成立を見るに至つたことは洵に慶賀に堪へない次第である

日本の國民諸君へ 防共の挨拶を贈る
ノイラート獨逸外相

防共協定の締結によつて一層親密を加へたドイツの外相フォン・ノイラート男から特に本社の爲めに左の如き新年のメッセーヂを寄せて來た、右はヒトラー總統の意向も含んでゐるものと解される

【ベルリン三十一日發特電】日獨兩國の親善關係にとり過去一ケ年は眞に意義深き年であつた、この一ケ年間に日獨防共協定によつて踏み出された世界政策の正當性が愈々明確に證明されたことは御同慶に堪へない、防共協定に就ては日、獨、伊三國の有する防共の强き意思を再び世界に闡明したが、實に此の世界平和の敵、國際秩序の破壞力に對しては吾民族的目標ある諸國民の共同動作のみがよく防衛の目的を達し得るであらう、新年に方り紙を通じて友邦日本の國民諸君に防共の決意を新たにすると共に、來るべき年も防共協定の理念に則して世界平和の確立に努力することを望んでやまない

新政府の各機關 けふ就任式擧行
愈よ一齊に政務開始

【北京三十一日發同盟】中華民國臨時政府各機關は一[illegible]政務を開始することになつた、三十一日[illegible]
[illegible]

空軍を增强
主力艦の完成まで 米國陸海軍が協力

【ワシントン三十日發本社特電】三十日UP通信社ワシントン支局の報道によればル大統領は關係各機關に對し米國の再軍備計畫の可及的速かなる實行方法を命じたと言はれ、來議會に提出さるべき明年度國防豫算の總額は十億弗を突破する模樣である即ち

海軍豫算
一、本豫算 約五億八千万弗
一、特別建艦豫算
一、各種補充豫算

陸軍豫算
一、本豫算 約四億十五百万弗
一、各種補充豫算

右海軍豫算案中に包含される特別建艦豫算による建艦計畫は巡洋艦二隻乃至はそれ以上及び航空母艦一隻以上を含むものと豫想される再軍備計畫に基く主力艦の建造が相當期間を要する事情に鑑み大統領は右期間中における國防の安全を期する爲め陸海空軍の增强を企圖してゐる模樣で、陸軍省當局では既に內命を受けて航空機の購入を急ぎ、今や各種陸軍機一、三五二台の購入契約を了し、之等飛行機は目下一日二台乃至五台の割合で陸軍に納入されてゐると言はれ一方海軍當局も之と歩調を合せて盛んに空軍の整備充實を急いでゐる

敵機三機を爆破

【上海三十一日發同盟】我海軍航空部隊は三十一日午前十一時發表

一、海軍航空隊は三十日午後河南省の舊都洛陽を空襲、同飛行場に待機中の敵機數機三機を爆破し格納庫及び兵舍數棟を倒壞炎燒せしめたり

一、又他の部隊は津浦、隴海各沿線の要地を攻擊、兗州、徐州、沂州、海州、日照において夫々裝甲自動車、貨車の密集部隊、敵陣地等を爆擊せり

獨宣傳相が强硬要求
前佛首相と會見

【ニューヨーク三十日發同盟】フランダン前フランス首相は過般ベルリンを訪問しドイツ政府首腦部と會見を遂げたが、ニューヨークタイムス紙ロンドン支局の報道に依ればドイツ宣傳相ゲッベルス博士はフランダン氏との會見に於て

一、オーストリアに於けるドイツの優越権を認めること

二、フランスはチェッコスロバキア內のドイツ少數民族の權利に關しチェッコスロバキア支持を止めること

三、フランスはドイツの旧植民地を返還するか若くはアフリカの植民地を相當の代償を以てドイツに讓渡することを要求し若しこれが容れられねばドイツはアルサスの返還問題は提起せざるを得ない

旨を强調したと言はれ、フランス政府はドイツの强硬な要求を前に苦慮してゐると傳へられる

比島大統領が國語統一聲明

【マニラ三十日發同盟】比島大統領ケソン氏は比島の志士ホセ・リザールが殺害されて滿四十年に當る三十日のリザール記念日に際し國語統一の大統領令を公布し今後比島の土語たるタガログ語を以て比島の國語とする旨を聲明した、國語統一の目的は比島の國家的統一を强化且つ促進するにあるとされる

臺北州會 十八日に招集

昭和十三年台北州會の通常州會は一月十八日午前十時台北州會議室に招集される

二日附朝刊は休刊

元旦は恒例の定休日に當りますので二日附朝刊は休刊、尙は夕刊は六日から發行

臺銀發行高 再び膨脹
回收遲々たり

日銀發行高は歲末押詰まるに連れて益々膨脹し三十一日への繰越高廿一億九千九百餘万円、內限外發行五億九千八百餘万円といふ掉尾の最多記錄を作つたが、一方台銀發行高を見るに去る二十一日官吏俸給日の一億一千四百九十四万二千円を最高とし二十三日に一億一千三百二十九万七千円と百六十餘万円の收縮を示したが、其後再び增加し三十日現在一億一千四百十二万二千円に上つた、之を昨年同日に比すれば實に三千三百二十三万三千円の激增である、例年二十一日の最高發行高からみると大晦日までに三、四百万円の回收を見る例を破つて本年は回收遲々たるものがある、之は特殊事情によるもので個人の懷ろに金はあつても例年ほど濫費しないことも一因であらう、矢張り事變の然らす異現象と見られてゐる

日銀帳尻 (同、單位千円)(三十一日本社特電)

兌換券	二、三五九、〇六八
貸出金	八〇一、〇〇三
金	三五六、二〇一
貸 出	七七〇、六七
保證發行	五六八、〇六

三田定則

中村富强

郭廷俊

臺北消防組 岡今吉

臺北市京町ノ七ノ八ノ九 小宮元之助

臺北市建成町一ノ九九ノ九六 知念政信

臺北市永樂町二ノ五 李瑞漢

臺北辯護士會員(登錄順)

臺北市榮町二丁目 冨士屋菓子舖 電話二六四七番 臺北市幸町一五四ノ三

謹賀新年(イロハ順)

臺灣日日新報社 河村徹 赤石定藏

石原幸作 岩村清秀 林松太郎 二戸貞智 陳清池 大竹文輔 近江谷健美 渡辺義孝 吉野秀之助 高橋久太 高桑末秀 永井三郎 長宗重一 氏家康一 倉田晋雄 山本英一 前田莊吉 前野嘉右 船越吉良 西川宇一 有富吉首 坂田喜久 木津秀男 宮室久雄 寶松頼廣 先崎平治郎 山崎斎 施炳 吳清 高欣 楊春 余天 柯天 魏朝 佐藤經三 神谷滋雄 座間味盛良 王金生 楊熾 黃銀河 [illegible]

客員 [illegible]

以上

彰化 安詮院貞熊

彰化 長谷川茂雄

彰化市會議員 山口德治

彰化市會議員 鳥井勝治

彰化市會議員 公莊勝二郎

彰化市會議員 林有信

彰化市會議員 巫金山

彰化市會議員 近藤進之助

彰化市會議員 張日昌

彰化市會議員 黃銀漢

彰化市會議員 林文章

彰化市會議員 柴田逸雄

彰化市會議員 李中慶

彰化市會議員 陳英方

彰化市會議員 吳蘅秋

彰化市會議員 呂世明

彰化市會議員 門馬勇

彰化市會議員 吳石麟

彰化市會議員 陳柏舟

彰化市會議員 稻福全志

彰化市農業組合

彰化專賣品小賣人組合

彰化市東門 石川吳服店 電話二一一番

大衆食堂 サロンスター 電話一三六二番

彰化驛前通 和洋菓子 各種パン 木村屋 電話三八番

竹東街三二 內地杉 各種木材商 奧田材木店 電話四五番

中德藥房 電話三三五番

鹿港露店組合 組合長 趙火炎

彰化市米穀統制組合

保證責任 彰化信用利用組合

彰化振業信用購買販賣利用組合

保證責任 彰化建築信用購買利用組合 彰化市東門二五番地ノ一 電話六十四番

彰化郡和美庄 和美恒生信用販賣購買利用組合

彰化市北門一九番地 昭和信託株式會社 電話四四七番

合資會社 カレンダー商會 社長 深河 彰化市北門外八 電話三三七番

彰化 隈部至德

彰化 李崇禮

彰化商工協會

彰化溫泉ホテル 株式會社 電話四一七番

彰化驛前 中部ホテル 電話一六二番

彰化果菜荷受出荷組合長 河合進

和美庄長 小川繁治

花壇庄長 笹木長太郎

彰化郡花壇庄 李重謀

彰化驛前 臺日運動具販賣 堀商店 電話一六一番

彰化市三角公園前通り 三光堂藥房 電話二四六番

電一六六番 彰化タクシー

彰溪自動車公司

彰化市 電二六九番 綿豐洋行

彰化市許嘉種 臺北市許乃昌

彰化市理髮營業組合

彰化市 鳴瀨早太

林齒科醫院 林孝太郎

彰化市西門 逢阪亭 電話三六番

彰化市北門 年豐棧 電話一二五番

恭迎皇軍大勝の春

紀元二五九八年

三田定則

藤田倶治郎

石井龍猪

後宮信太郎

木村泰治

池田卓一

増田虎藏

小松吉久

松本雄吉

肥後誠一郎

中辻喜次郎

中村富強

安座上眞

貝山好美

島田利吉

三毛菊次郎

池田又四郎

日本舗道株式會社臺北出張所 千住種次郎

郡松一造

山中佐太郎

藤田輝三

林熊徵

郭廷俊

陳天來

林柏壽

捷榮合資會社 代表社員 張清港 臺北市太平町三丁目一〇九番地 電話二一一五番

村崎長昶

重田榮治

谷河梅人

江原節郎

持木壯造 臺北市川端町三二三番地ノ七 電話二五三八番

昭和商行 相馬喜多郎 臺北市大正町三ノ三 電話五六八二番

矢野邦美 [illegible]

臺北消防組 岡今吉

篠塚初太郎

平田藤太郎 臺北市川端町

中島清吉 臺北市兒玉町二丁目十三番地

菅野外科醫院 菅野尚夫 臺北市本町三ノ三

國際電話株式會社 臺北出張所長 田邊幸四郎

[illegible] 加藤清郎

張園 臺北市宮前町

臺北地方法院所屬 司法書士 行政代理 千葉文三 事務所 臺北市建成町二ノ一（市バス建成町二丁目停留所前）

新舘謹次郎

東部組[illegible]株式會社 [illegible]教市郎

臺北辯護士會員（登錄順）

小宮元之助 臺北市本町四ノ七、八、九 電話二四四四番	川村淳 臺北市京町二ノ五 電話四三二七番	長尾景德 臺北市建成町三ノ五 電話二四九八番	三谷仁思 臺北市末廣町四ノ一 電話二五七六番	井川正直 臺北市末廣町三ノ四 電話四八三六番	潁川增福 臺北市建成町一ノ一四八 電話五〇八九番	金子光太郎 臺北市末廣町三ノ七 電話二八六六番	永山章次郎 臺北市大正町三ノ一〇 電話四四八〇番	木村長十郎 臺北市大和町四ノ八 電話二四四二番	鼓包美 臺北市太平町二ノ四五 電話二〇四九番
知念政信 臺北市建成町一ノ九五、九六 電話三二四八番	桝見良作 臺北市末廣町三ノ一 電話二八六七番	古屋貞雄 臺北市京町四ノ三 電話四九九八番	檜垣元秀 臺北市下奎府町一ノ六八 電話事務所二二五六 自宅五〇七〇番	堀田眞猿 臺北市太平町四ノ七 自宅臺北市古亭町 電話事務所四七一二 自宅三九〇	施炳訓 臺北市建成町四ノ一四 電話事務所一六九五 自宅二〇四七番	有水常次郎 臺北市京町一ノ三 電話二三四一番	石堂明治 臺北市末廣町一ノ二 電話二〇〇四番	陳有輝 臺北市京町三ノ一	吉江潤國 臺北市建成町二ノ四
李瑞漢 臺北市永樂町二ノ五九 電話五五九六番	横山市治 臺北市太平町二ノ九二 電話四四八九番	金子保次郎 臺北市下奎府町一ノ一五〇 電話事務所三八〇六 自宅五四六一番	蕭祥安 臺北市北門町四 電話五三七五番	陳逸松 臺北市太平町一ノ四 電話六三六二番	小山隼太 臺北市京町四ノ一〇 電話六一五九番	周延壽 臺北市有明町四ノ九一、九二 電話五二七六番	黄炎生 臺北市下奎府町一ノ七三 電話六三五五番	黄際沐 臺北市建成町一ノ九九 電話三一〇五番	中野峰夫 太平町二ノ九七 電話七三一九番

臺北市下奎府町二丁目四四
印醬油釀造元
大正醬油株式會社
電話三一〇三四番
振替口座八九九七番

森永ドロップス
第一線の意氣を確保する榮養の尖兵
一粒でよく咽喉をうるほし疲れをなほすドロップスは皇軍と共に前線にあつて榮養の偉力を遺憾なく發揮してゐます
（慰問用罐入 十錢・廿五錢・五十錢）
野球カード合せ入 二錢・五錢
森永製菓株式會社

謹祝 皇軍大勝
紀元二千五百九十八年
恭壽 一陽來福
昭和十三年元旦
淺野スレート株式會社
東京本社 東京市京橋區銀座 電話銀座代表五八四一
大阪支店 大阪市北區中之島 電話土佐堀八二〇五
門司支店 門司市白木崎 電話一九一一
名古屋支店 名古屋市中區南鍛冶屋町 電話中一〇九七
京城支店 京城府黄金町 電話龍山七四二
札幌出張所 札幌市北三條東四丁目 電話五九八
臺北出張所 臺北市本町 電話四一七五
仙臺詰所 仙臺市東四番丁 電話三〇二〇

臺北市榮町二丁目
冨士屋菓子舖
電話二六四七番

臺北市幸町一五四ノ三
冨士屋製菓工場
電話二九七三番

臺北市本町三ノ一
臺灣物產紹介所
桑原直
電話六一二三番

萬染物
森染工場

臺北市日新町二丁目
臺灣料理
江山樓
電話二五五五番・五一六三番

臺北市太平町四ノ一八
有限責任
稻江信用組合
電話四三二八、四九二三番

臺北和洋雜貨商卸組合
組合員一同

臺北市永樂町三丁目二十八番地
保證責任
臺北勸業信用利用組合

臺北市大正町二條通り
訓眉建業株式會社
電話四九二〇番

大阪森田ガソリンポンプ製作所總代理店
合資會社 山口ポンプ商會
臺北市大和町四ノ一〇

羅紗 綿製品商
本田犒商店
臺北市京町四ノ七

臺北市京町一丁目
福岡洋家具商會
電話四三七四番

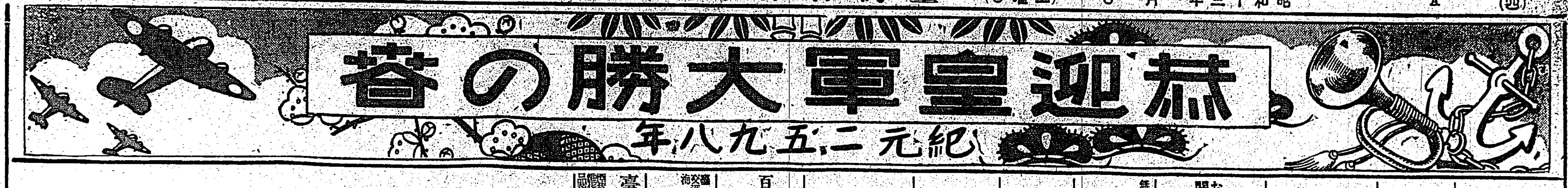
臺北市西門町三ノ一九
互助會
福島行光
電話六一八八番

彰化市農業組合

彰化專賣品小賣人組合

彰化市西門
逢阪亭

彰化市北門
豐年棧



平田賢一 基隆

角谷定吉 基隆

魚函商 吉武商店 基隆市濱町五二 電話九八四番

基隆市日新町五丁目角 おでん 關東煮 謠池亭 電話四一〇番

石井機械製作所 製作所 基隆市入船町二ノ一 電話一〇五六番 營業所 基隆市入船町 電話六七六番

基隆 何貴芳

基隆市明治町四ノ七 久保友太郎 電話九三一番

基隆市福德町二ノ四八 曉星金物店 電話一〇二〇番

大基炭礦公司 振芳

基隆市義重町四丁目 百貨卸 福助屋商店 電話二二九九番 振替臺北六一〇〇番

臺灣總督府交通局指定 基隆 木村運送店 電話七二番

臺灣船渠酒保 基隆 生發 李兩成

基隆市會議員一同

林準二 范寶動 横井鋼一 松浦新平 吉原多三二郎 明比實平 土居靍雄 何鵬 廣田幸平 竹田義治 河井良平 河田直吉 宮上龜七 林應時

林藤二 田尻信次 河合莊太郎 森山藤七 關本諄二郎 宇田繁 居川榮世 猪俣敬藏 葉松濤 汪榮振 蔡星穀 邱德金 陳漢周 顏窓吟

基隆市助役 田部貴

基隆 大西政市

基隆 和泉種次郎

基隆市旭町一ノ五〇 大成運輸組 電話七〇七番

㊎ 基隆市明治町一丁目 基隆館運送本店 電話 支店 臺北市樺山町九七番地

基隆市田寮町九五番地 臺灣肥料株式會社

基隆市双葉町九六 石炭商 倪蔣懷 電話四三一番

日本通運株式會社 基隆支店

基隆驛前 カフヱーミドリ 電話六二二番

基隆市濱砂町 潮湯 港湯 電話五六四番

基隆市日新町一丁目 御料理 吾妻 電話一一七〇三番

臺灣煙草賣捌人組合臺北支部

谷河梅人 奥村文市 尾辻國吉 郭廷俊 雄谷雄作 稅所重雄 谷國三郎 雷俊臣 北條熊人 塚本勝 吉良一義 本山直枝 中田正明 岡本賢一

土木建築請負 勞力供給請負 林工務所 林才 臺北市下奎府町二ノ一

㊞ 臺灣寫眞製版所 岡部眞寶 臺北市御成町四ノ二 電話七〇壹八番
新案微粒子コロタイプ 多色刷オフセット 寫眞印畫ト同調子ノプロセス 原色寫眞版 各種寫眞撮影ノ需ニ應ズ

基隆 平道峰吉

カフヱーみどり 女給一同

暖暖茶業組合 林年壽

基隆市昭和町拾參番地 基隆冷藏株式會社

基隆市日新町四ノ一 鋼鐵材商 諸機械工具 梶塚商店 電話七五七番

基隆市義重町五 御料理 まつや 電話二四〇番

基隆市旭町三丁目 東陽物産商會 基隆支店 電話三六〇番

基隆市濱砂町 御料理 潮湯 平和湯

基隆市 御料理 二葉

基隆市濱砂町 御料理 嚴亭 電話一〇六番

宜蘭 貞方平一郎

宜蘭街長 樋口要司

臺北州會議員 砂田隣太郎

臺北州會議員 陳金波

宜蘭街 辯護士 佐藤德治

宜蘭、羅東 臺日取次店 佐藤東一

宜蘭街 桑山寅三

宜蘭街 小谷謙

宜蘭 有限責任 宜蘭信用組合 電話二四番

ライト寫眞館 宜蘭街 電話二〇番

宜蘭街 洋雜貨商 田中榮續堂

宜蘭街 保證責任 宜蘭建築信用購買利用組合

員山信用購買販賣利用組合 宜蘭街 電話二〇七番

吾妻旅館 宜蘭街 電話五九番

宜蘭街宜蘭門一四〇 辯護士 法學士 檜垣元一 電話二〇八番

タクシー ツバメ商會 宜蘭 電話二〇五番

宜蘭料理屋組合

臺灣煙草賣捌人組合宜蘭支部 小島仁三郎 中野七二郎

宜蘭街協議會員

小島仁三郎 重藤幹一 河谷義富 渡嘉敷唯動 中山浩資 権原國知 吉岡信亮 内野初雄 范阿成 邱有才 張振茂 [illegible]煥 廖燦堂 連碧榕 吳阿耀 林元弼 石[illegible]遠

宜蘭殖產株式會社 羅東郡新城

宜蘭街 ㊐ 田中吳服店 電話六十壹番

平戶宜蘭支店 電話一四六七二番

宜蘭郡醫師會 [illegible]

宜蘭 伊藤工場 電話二七番

㊂ 宜蘭醬油株式會社

壯圍庄長 板羽茂平太

礁溪庄長 野口子之吉

員山庄長 高野五郎

砂糖製造並ニ賣買 清酒西澤之鶴 チヨダビール 蓬萊物産合資會社 代表社員 黃再壽 本店 臺北州宜蘭街 出張所 臺北市建成町 工場 高雄州岡山郡田寮庄

蘭陽齒科醫師會 [illegible]

宜蘭街 杉崎旅館

宜蘭郡米穀統制組合

宜蘭 中野鹿之助

蘭陽振興株式會社 電話三三五番

汐止街長 李朝芳

保證責任 汐止信用購買利用組合 組合長 羅水吉 專務理事 高佛成 外役職員一同

汐止 カフヱー 灘音

石炭採掘 コークス製造販賣 ガラス 益興炭礦株式會社 代表取締役 周錦樹 本社 七星郡汐止街 礦業所 坑場

石炭採掘 ガラス製造販賣 德興株式會社 松山炭坑 代表取締役 周錦樹 營業所

羅東郡守 數山英一

羅東街役場 五結庄役場 冬山庄役場

羅東郡米穀統制組合

羅東 波江野吉太郎

羅東街 伊藤旅館

羅東郡醫師會

會長 清野滿五郎 副會長 林捷龍

醫師（イロハ順） 同 同 同 同 同 同 同 同
范陳陳陳陳陳陳陳陳
姜新茂 一成 呈 石氏 進 錫 春
淵鑑以岳祥滿東欽亭
同 同 同 同 同 同 同 同 同
張林上村鵜前江黃許
原木 上 殿田 鳳 搏 光 吾藤 英
佳溪三線六藏六欉扶漢

臺灣酒類賣捌人組合宜蘭支部 石鏗遠 黃再壽 長谷川錄郎 折尾德慧

羅東席貸組合

羅東街 大和劇場 代表者 黑木和七

演劇 映畫 羅東座

羅東信用組合 役職員一同

羅東土木協會（電話壹貳九番）

協和商行製材所 代表者 林

株式會社 施合發商行羅東出張所 吳金水

蘭陽自動車株式會社

共益自動車株式會社 社長 林木火（電話羅東九番）

日本產業合資會社 羅東支店

蘭陽產業株式會社 取締役社長 黃承爐

株式會社 豐年商行 本店 羅東郡羅東街 支店

日永紅茶製造元 五堵茶業組合 組合長 余土鐘 基隆郡七堵庄五堵七六番地

大島鐵工所 基隆市入船町 電話

合資會社 大成鐵工所 代表者 楊火勢

基隆市双葉町九六ノ三 顏赤九 電話七六番

基隆市義重町二丁目 基隆藥局 基隆藥局支店

基隆市義重町一丁目 藤井豐店 電話一八八番

羅東街協議會員 鈴木進一

保證責任 羅東郡五結庄利澤簡 利澤簡信用購買販賣利用組合

板橋街役場 街長 助役 會計役 外職員一同

林本源維記興業株式會社 社長 林祖壽

海山自動車株式會社 社長 林清富

保證責任 板橋信用購買販賣利用組合 組合員一同

鶯歌庄役場 外職員一同

基隆 松本勇

基隆 富田嘉明

戰勝の新年を迎へ御同慶に存じます どうぞ不相變一層の御引立を御願ひ申上げます
基隆吳服商組合 組合店主一同

江戸壽司 釜めし 天婦羅 菊水

金鑛業 金厚利公司 理事長 周錦樹

永沼隆會基隆出張所 永沼靜夫

基隆 許景論

支那事變の突發で皇軍動き、擧國未曾有の緊張裡に暮れたる昭和十二年の經濟界を顧るに、戰時體制下に拘らず產業に、財政に綽々たる餘裕を以て公私經濟の底力を示し、わが臺灣に於ても產業に貿易に躍進的發展を續け、帝國非常時財政經濟の一環を分擔して多大な貢獻をなした。さて本年は如何―事變の結末未だ見通しならず、內外財界の情勢にも警戒すべき底流仄見え、對支問題の解決其他の重大件案山積す、此際國民は上下一致その職場による緊張、一時も忽にすべからざる年頭である。本紙は茲に新年初刷の一頁を割き、財界其他關係筋に投稿を受け、年頭の所感を紹介することとした

非常時局の拾收と わが國財政の前途
問題の重點は事態の復員策
京大教授經濟學博士 汐見三郎

戰爭の第一條件は金、第二條件は金、第三條件は金と言ふモンテスキウの古い言葉は間違ひであつて、戰の勝敗の岐れ目は第一線に活躍する將士の努力如何によつて定まるものである。然しモンテスキウの言葉にも幾分の眞理は含んでゐる。即ち戰爭は戰場に於ける戰に止らずして、實に背後に於ける國の財政如何によつて其の勝敗の幾分かが決定せらるることとなる。過去の戰爭に於ては戰爭當事國の使用する戰費と言ふものが相當重要なる力を有してゐたのであり戰費の財政が即ちこれである。然しながら現代の戰爭に於ては、政府の經費と言ふ狹義の財政が勝敗を左右するばかりでなく、實に一國の經濟機構全體を動員したところの廣義の財政によつて運命づけられると言ふことが出來る。我國民の全部が戰場に於て戰ふと言ふことは不可能のことである。然し銃後に於ける國民が我が非常時に處する途としては、廣義の財政即ち我國全體の經濟機構を非常時の一點に集中して、以て我國の目的を貫徹せしむることが最も必要のことと言はなければならぬ。戰局が追々進展して來ると戰ひは短期戰と言ふよりも持久戰が必要となつて來る。この持久戰の時期に入れる經濟機構の爭なるものが最も力を發揮して來る、時局と財政の問題は今後の問題として殘されて行く。

一國の國力を擧げて非常時を克服するためには、財政は兩方面に於て積極的、發揮する必要がある。財政の積極性と財政の消極性との二方面がこれである。財政の積極性とは、非常時に必要なる方面に對しては惜氣もなく經費を支出し、非常時に必要なる資材を提供するためには凡ゆる努力をもつて生產力を擴充する事である。世界大戰に於けるドイツの大藏省の態度は徒らに經費の出惜りをして、軍事上に缺くからざる支障を來したと稱へられてゐるが、我國の大藏省はこの點については我擬すべきところである、財政の積極性は單に軍事關係の經費を餘計に出すことによつて目的の達せられるものではない、その經費消化し得る勞働力、その經費の對象となる一層その他の生產力が充實して居らなければならぬ。これらの生產力を充實するためには臨時なる資金をこの方面に注込む必要がある。臨時資金調整法に掲ぐる甲の企業は悉くこの部類に屬するものであつて、臨時資金の經費の支出が最も有效に使用することはこの臨時資金調整法の使命とするところである。生產力の擴充は必要のことではあるが、急速に我が國防を充實するためには勢ひ外國から必要資材を輸入する必要が起つて來る。國內產業と共に外國貿易をば如何にして調和して行くかと言ふことが重要なる問題となつて來る。この問題は國際收支の均衡と併せ考へなければならない。

臨時財政は積極性ばかりで進むものではない。經費を一面に於て膨脹せしめる一方にはこれを生み出す力として他面に於て比較的必要の少ない經費を極力節減する必要がある。又一方に生產力を擴充するためには不急の事業はなるべくこれを遠慮して貰つて、殊に非常時に必要なる生產力の擴充に志すやうにしなければならぬ。これがために平時財政としては是非せらるべき經費を繰延べし、更に平時の自由經濟に對する或る程度の統制を加へる必要が起つて來る。政府が新規事業を打切り繰延べるとともに他方に既定經費をも節約して經費を一圓でも多く非常時に充てるのが經費の消極性の半面である。特に鋼鐵その他の軍需工業に必要なる資材を造る方面に大事業を丙と定めそれら事業の新設擴張に對しては資金の途を閉し、本來これらの事業に向くべき資金をば專ら甲の必要缺くべからざる事業に向けんと努めたのが財政の消極性の第二の現はれである。第三に國內品需要を擧げることが出來る。自由經濟の立場から見れば外國品は必ずしもこれを排斥すべきではないが、非常品輸入のために動もすれば正貨の流出せんとする折柄であるからなるべく外國品の使用を節約し輸入を防遏しもつて國際收支の均衡を保つ必要がある。國際收支の均衡が保たれるとなると對外爲替を堅實に維持しもつて北支工作中支工作について十分の自信をもつてこれに臨む事が出來る。資金統制の如きも全くこの方面の努力に他ならない。第四に財政の消極性としては物價騰貴を抑制するために凡ゆる努力を拂ふ必要がある。一時の如く物價の下落が止まるところを知らないといふのも面白くないことであるが、又物價が急に騰貴することがあつては我國の財政計畫及び經濟機構に思はしからぬ影響を與へるものとして極力これを避ける必要がある。其の方法としては不急の購買力を財界に停めて置くことは極力これを避けねばならぬ。郵便貯金、貯蓄銀行、一般銀行、生命保險會社、信託會社に不急購買力を貯蓄することによつてこれら金融機關の公債消化力を增加し、又は直接に政府の資金に小額公債を通じてこれら不急の購買力を吸收する必要がある。この點について增稅が考へられて居る。中央地方を通ずる稅制の根本的改革を行ふことこの際避けるとしても、過剩購買力が財界に留つて物價騰貴の原因となるのを極力吸收するためには增稅は相當重要なる役割を演ずるものである（未完）

財界發展過程に 惡性インフレ到らず
非常時國策運營に協力せよ
日本銀行總裁 結城豐太郎

昨年の財界を顧みるに、前年秋以來主として國防充實計畫の進展に伴つて所要物資の需要が旺盛に喚起せられ、殊に支那事變の勃發以來此の趨向は更に旺盛を加へ之れに對應する生產力擴充の機運亦澎湃として起り、物資取引は繁忙を極め、資金の需要亦繁劇を加へたが、此間物資並に資金の需給は概して均衡を保ち、財界各方面共國策の向ふところに順應して些かの逆轉をも示すことなかつた。之れ蓋し財界一般の協力に俟つところ多しとせざる一面、資金及び物資に關する各般の調整策が實施せられて所謂

非常時經濟體制
の基礎漸く確立し、其の效果も漸次示現するに至つたことに由るところであるが、其の根柢に於いて一に本邦の國力が近年著しく發展し其の基礎の强固を加へたる結果に外ならぬのである。

今特に之を金融情勢の推移に付きて概觀するも、時局の發展に伴ふ政府關係資金の撒布は前年以上の巨額に達したる一面に於いて生產擴充資金並に入超決濟資金の需要又多額に上りたる等に因つて、金融の基調は時に强調を呈し、特に事變後一時稍緊迫の狀況を示したのであつたが、此の間政府及日本銀行の各般の金融操作の遂行等が手傳つて金融は大體順調に推移し、年末に際しては時局柄相當資金移動の繁盛を見たに拘らず、極めて平靜に越年するを得たのである。又國債の消化に付ては金融情勢が右樣の次第であつたから必ずしも円滑とは稱する事を得なかつたが、其の推移は尙相當の順調を示し殊に事變勃發以來國民銃後の赤誠盛なるものがあり

一般國民所得の
增大、勞務各種の金融機關の買入が絕えず行はれ、又郵便局賣出に係る事變國債の如き特別の好成績を呈する等識に吾人の意を强うするものがあつた。

本年の經濟界前途の情勢を按ずるに、既に南京の攻略に依つて一轉機を劃するに至つたとはいへ前途容易に樂觀を許さざるところであるが、本邦爲目の國力は非常時經濟體制の一層適切なる運營の下に益々增强發展を遂ぐることと思ふ。先づ金融の前途を觀るに、臨時資金調整法は漸く其の過渡的時期を經過して本年に入つて一層其の所期の效果を發揮して資金需要を妥當に調整するを得べく其の一面に於いて今後非常時經濟に伴ふ政府資金の撒布は增大すべく、自然此等の資金は金融市場に注入せらるると共に他面政府及日本銀行も適切なる金融措置を引續き執り行ふ方針であり、金融市場は一層緩和の方向に向ひ、經濟界各方面の活動は益々円滑を期し得るであらう。而して此間に於いて

國際收支の適合
を目的とする輸出入臨時措置法並に爲替管理の運用が妥當に行はれ、他面既往の生產力擴充の實現によつて、物資の生產を增加せしむるを得べく、斯くの如き財界發展の過程に於いて所謂惡性の通貨膨脹を生ずるが如き懸念は存せぬところである。

國力の基礎を維持充實せしむる第一の要件が益々生產力の增强を圖るにあることは勿論である。依つて此の際國內及び我國と密接なる經濟關係を有する地域に於ける資源の開發を圖るは急務であり、又國外資材の輸入に支障なからしめん爲めには輸入の調整以外更に一層輸出の伸張を期さねばならぬ。近時海外景況は漸く逆轉を傳ふるものあり假令一九二九年當時の如き反動的不況の再來は想像し難いにせよ、今後恐らく差當り低迷を免れないであらうから此の際本邦としては輸出方面に於いて一層良質廉價の實を擧げて海外販路の確保に努むる要があらうと思ふ。此の點から云つても特に國內物價の急騰は極力之を避けねばならない。今日徒らに景氣昂進を豫期し、之を煽るが如き態度は嚴に戒愼すべきである。

爲替現水準の維持
は單に物價の昂騰を抑止する意味ばかりでなく、今後我國の財政經濟の健全なる運營上絕對必要の事柄であるが、本年度の國際收支に就ては輸入調整、輸出促進、消費の節約其他凡ゆる方策を講じて、之が調整を圖る上に於いて最善の努力を拂ふべきである。之が爲めには國民經濟の一部面に多少の不便を生ずる向もあらうが、之を忍ぶの覺悟が肝要である。

年頭に際して吾人に課せられたる重大なる任務は、忠勇なる戰線の將士が既に示現したる無比の戰鬪努力と犧牲的精神とに倣つて、之れに匹敵するの決意を以て經濟戰線に於いて邁進し、以て銃後の護りを全くすることにあると信ずるのである。荀くも通貨金融の事項に關しては日本銀行は其の機能の發揮の上に万全の力を致し、國策遂行に協力して万遺憾なきを期して居るのである。私は此際全國民が齊しく各々其の分に從つて益々國策の示すところに順應して

堅忍不拔の努力
を傾倒せられんことを切望して止まない。想ふに此の時艱の克服は決して難事に非らず、國運の發展は期して待つべきものがある。（寫眞は結城總裁）

糖業
新分野現出と多角經營化
日本糖聯理事長 藤山愛一郎

我糖業界は今や完全なる自給自足の狀態に達し、此非常時に際して其の供給は勿論糖價に於て國民に危惧の念を生ぜしめざることは我々の私かに誇とする處である。戰時に於て砂糖の缺乏を訴へざりし國は未だ其の例を見ざることを想起し且つ万一我國が今日尙外糖に依據する狀態に在りとせば眞に寒心たらざるを得ない次第である。確乎たる糖業政策と糖業者の努力が今日に於て酬いられたのであつて顧みて我々は万感交々至るものがある。

昨年の糖界は眞に多事多難であつた。消費稅の增徵、附加關稅の撤廢は時ならぬ波瀾を業界に與へたが、當業者の好く此事態に協調し乘切られたことは感謝に堪へない。又無水酒精の生產計畫、工業用酒精の增產等を當局より慫慂せられ、之が準備に忙殺せられ、更にバガスパルプ其他の多角經營に付ても、漸く其の緒に着いたのであつた。斯くて糖業者は一段の飛躍に邁進して居る姿を顯はしたのである。

本年は未曾有の增產を豫想せられ一百万担を超ゆる砂糖を輸出し得ることとなつた。世上やゝもすれば此事を以て明日の糖業或は糖價の運命を云々する向もあるが、北支、滿洲若くは將來の支那市場は世界に於ける砂糖及糖業の處女地なるのみならず又我國の消費增加も益々之を期待し得るので、此の增產こそ寧ろ樂觀材料とせざるを得ない。若し一抹の不安ありとすれば、そは生產費の增加であつて之即ち海外市場に角逐すべき運命を有し、且つ生活必需品たる砂糖の直面する最も大なる惱とする處である此點當局者の理解ある糖業政策の遂行と新業に對する社會一般の認識との一層深からんことを翹望するに堪へない次第である。倫敦砂糖會議の結果世界市場は完全なる安定に達した最近の需給關係を檢討するも本年度の世界糖價は極めて健全に推移するものと推測せられる。我國の糖價も必然此世界的水準を遊離することは無いと信ずる。從つて我々は本年の糖價は多少の浮動こそあれ極端な變動を示すことなしと思料する次第で、益々其の生產に努力すると共に、酒精、パルプ其他の新たなる分野に非常時に於ける經濟人の意氣を示して一意邁進せんとする覺悟である

交通
この一年 鐵道遞信事業計畫
交通局總長 泊武治

昭和十二年に於ける鉄道事業を見るに我の年に於て支那事變勃發するあり、國民銃後の赤誠は消費經濟の節約となり一般の景氣は緊縮裡に終始したに係らず極めて順調に進展し就中運輸營業に在りては記錄的實績を擧げた昭和十一年度に比し尙且つ約九十万円の增收を見越し得る程の好果を擧げ、其の上皇軍の出動に際しては軍と緊密なる連絡の下に列車の運轉に當り良く其の任務を遂行し得たのである。是等は元より四圍の情勢にも依ることであるが、他面漸次鉄道施設の充實したると全從業員の獻身的努力に依るものであつて、誠に感謝に堪へない次第である

鐵道關係
十二年に於ける鉄道工事の主なるものは枋寮線新設工事台北驛改良工事及台中線災害復舊工事等であるが、何れも大體順調なる進捗を見せ就中台北驛は既に樺山貨物驛の新設を了し本線上に劃期的利便を與へ、台中線災害復舊工事も本年六月頃には全線開通の見込みで震災に依つて興へられた南北交通の不便も茲に三年振りに復舊する譯である。鉄道の營業政策に就きては交通の利便を增進し國利民福を計るにあるは勿論であるが、本島四圍の情勢から見て今後一層島內產業の助長奬勵に重きを置き適當の施設を加へ之が積極的開發に資し度いと思ふのであるが、差當り本年度に於ては非常時國策遂行の立前に於て前年來の繼續事業の外彰化台南間複線工事、新竹驛附近改良工事花蓮港驛港鉄道新設車輛の增備並に運轉施設の改善充實等の計畫を樹て之が實現に努めてゐる。然し是等の施設は素より當面の應急對策に過ぎないのであつて、之に依つて直に台灣の進步發達を招來し得るものとは云へないのであつて時局的に本島の進步發達を計らん爲には更に鐵道網完成、之を補ふ自動車路線の擴張、運輸諸施設の全面的改善充實を計らねばならぬ、又年々段々增加して滯貨する處なき貨物輸送に對して遺憾なからしめん爲には之が根本的解決策をも講ずることが必要であつて之等の實現に就いては一般の協力援助を望んで止まない次第である

遞信關係
遞信部關係事業も鉄道と同樣當面の時局に際し直接間接寄與する處極めて大なりしことは贅言を要しないことであつて其の間に於ける從事員の勞を多とする。昭和十二年中に於ける主なる施設事項は郵便料金の改正、全島速達郵便制度の開始、鵞鑾鼻無線電信局の台南に移轉改築、台北電話局の新設、小兒保險の實施、台南飛行場の開設、台南局公開航空郵便開始等であつて就中速達郵便、速達郵便、別配達郵便を合併統一したる點に於て又台北電話局の新設はこれと同時に從來の台北郵便局に於ける交換電話を自動式に變改した點に於て共に本島遞信事業上に於ける劃期的施設と言ふも憚らない。その他愛國切手の發賣、愛國公債の發掘、放送の强化は時局を反映した施設として特記すべき事項である。殊に前二者が非常なる盛況を以て迎へられ多大の實績を擧げ得たことは島民愛國心の發露として同慶に堪へない處であり、又愛者が事變の推移に呼應して報道宣傳の第一線に立ち、本島の內外に對し時局に對する正しき認識を與へ、民心の安定に多大の貢獻を致した事は吾人の最も心强く感ずる處である。此間昨年度に於ては內台航路に新に高砂丸、富士丸及台千鳥丸等の優秀船を加へ多年懸案の內台間航路時間の短縮並に冬季二週一回夜間航海を實現し得たので、本年度に於ける郵便關係の新規事業としては差當り內台間郵便物の輸送を確實ならしむる為め內台定期航空便の增加を計り現在の一週三往復を每日一往復に改め四月一日より實施の豫定であるが、同時に島內定期航空路を增設し現在の西線、東線を島內循環東西兩線とし新に台南高雄線を開設し、又台北飛行場の擴張及飛地工事を完成し名實共に國際空港たらしむる計畫である

道路港灣
最後に道路港灣關係諸事業に就いて見ると之れまた順調なる進捗を遂げ安平港修築工事は本年三月縱貫道路下淡水溪橋工事は昭和十三年中に完成の豫定である、其の他現在施行中のものにして數多重要なる築港工事を控へ前途愈々多事多端の感がある、之を要するに今や首都南京陷落に依り極東の情勢は將に一變せんとしてゐるのである、吾人は須く此の情勢の推移を直視し銳意益々島內文化產業の普及促進を計ると共に我が南進國策の具體化に努め以て國運の發展に寄與せねばならぬ（寫眞は泊總長）

專賣
財政、產業への使命重大
專賣局長 今川淵

台灣は帝國南方の鎖鑰にして我が南進國策の據點として又軍事上の生命線として重要なる役割を持つてゐるのであるが須らく島民は時局を認識し本島の重要性に鑑み國力を伸張すべき凡ゆる施設に協力し大いに國民精神を振作すると共に產業方面に於ては專ら其の生產力を擴充し全企業能力を發揮し益々物的資源の開發整備に努め我が非常時國策の遂行に寄與するところなくてはならない、我が專賣事業についても茲に深く戒心を要するものがあり、本島成人の嗜好に重大なる貢獻を爲して居り實に我が專賣收入は本島に於ける歲入の半に垂んとし財政的に重大なる役割を爲してゐる、而して本島專賣事業は獨り財政的收入に於て其の重きを任ずるのみならず他方又本島經濟產業等の開發指導に或は又島民の保健衛生等所謂社會政策的使命をも併有し此の方面に對しても亦輕からざる貢獻を致してゐる、想ふに現下非常時局に鑑み庶政一新以て大いに國運の擴充進展を要すべきの秋に際會し我が專賣事業の使命の愈々重且つ大なるものあるを痛感する次第である。近時專賣事業の業績は本島經濟界の發展と相俟つて酒、煙草の賣行增進し一般に好況を呈し本年度は支那事變の勃發に依る各種專賣事業も幾分の影響を受くるにあらざるやと懸念せられたが、事變の影響も大した事なく事業は極めて順調にして、本年度の專賣收入見込額は約六千四百万円以上を保し、年度當初の收入豫算に比し約四百万円强、十一年度の收入實績に比し約六百万円强の夫々增加を示してゐる。さりながら我々はこれに滿足することなく本島專賣事業の本府財政上乃至は產業上の重大使命に鑑み益々事業の擴充發展を希願して已まないのである。即ち第一煙草工場の設立、板橋酒工場新設計畫等は其の一つの現はれであり、新年に於ては鹽其他專賣品の品質向上を計るは勿論販賣制度の合理化に依り專賣收入の增加に努むると共に原料生產關係方面に於ては樟木の保續、鹽田の擴張、改良黃色種煙草耕作面積の擴充等に力を致し吾が專賣制度の統制合理化に努め其の使命の發揚に邁進し、以て我が國運の伸張を增進すべき本島統治の業績に更に一段の光彩をそへ益々皇恩に報いたいと念願してゐる次第である

私の年頭感…
臺灣電力株式會社社長 松木幹一郎

今年は實に興亞の年であります。寅は千里を馳ける勢へで、正に我日本帝國の大飛躍を象徵するものと思はれます。今回の支那事變の聖戰にて帝國が連戰連勝忽ちにして支那の首都南京を攻略入城したことは歷史上空前のことでありまして誠に御同慶に堪へない次第でありますが帝國の東亞に於ける責務は愈々其の重大さを加へましたことは今更申す迄もありません、然らば今後如何なる覺悟を吾々國民が持つべきかと云へば申す迄もなく戰は絕對に勝たなければ成らぬのでありますから吾人銃後の國民として常に前線將兵に對する感謝の念は勿論萬難の同胞を如實に表現し又將兵の後顧の憂を斷つため皇國の安全を期する上にあらゆる努力を傾けねばなりませんが、最も必要なる[illegible]

新當時の上崎一人の御製の如く「上下心を一にして盛に經綸を行ふ可し」を服膺しなければなりません。凡ゆる進步の境地にある國家社會の事業は所謂日に新に又日々に新たなるを要するのでありまして之を新にするの途は斷じて經綸を行ふことでありますが此經綸たるや凡て獨創的イニシアチーブなるものたることを要します。獨創的なるが故にそこに深刻さがあり、又然意があるか、それで實行に移りやすいのである。官も民も亦個人一家のことに於ても此創意的努力が凡ての進步の基調であり之なきものは退嬰の悲哀の音を聞く計りであります。この經綸の出現如何が我が國運の將來を決定し、國家經濟の難局を救ふの唯一最善の方法でありま[illegible]

笑へる虎
臺北 戶水昇

昭和十三年は寅の年である。[illegible]私の書くのは台灣の「笑へる虎」（ラッフィング・タイガー）として世界に名の通つてゐる虎である。[illegible]「虎切手」[illegible]「笑へる虎」[illegible]

「笑へる虎切手」とは領台當時台南を中心として「台灣民主國」と云ふ泡沫的存在があつた、今頃台灣民主國なとと云へば不思議に思ふ人があるかも知れない、寧ろ[illegible]

交方面の事務を主管した陳季同の仕事である。陳季同と云ふ男は從年永く巴里の清國公使館に在勤し兎角の風聞があつて召還せられたものであるが、後ち劉永福に用ひられて台灣に復活した者である。[illegible]

[illegible]艦に微服して東門より出で大稻埕より船に乘つて淡水に出で滯留する二日、汽船吉布號に乘つて出奔して了つた。首都台北に於ける民主國は實際に三日天下であつたが台南に居つた劉永福は落城迄數ケ月の餘命を保つた。その間に發行したのが虎切手で、明治二十八年[illegible]

に書いたことがあるが當時之れが郵便愛好者の注意を惹いて其後大英博物館吉氏等の非常な蒐集と研究が發表せられ、為めに台灣郵政上の暗黑時代を闡明することが出來た事は私の愉快とする所であつて私の小さな研究が[illegible]

[illegible]Benevolent Looking Ti[illegible]だとか謂はれてる。アフガニスタンの猫ならば敢て台灣民主國の首に求めなくとも北門巷頭の梅林に居るかも知れない。

私が新年頭の台日紙上に切手の話を持ち出したのは實に他でもなき[illegible]本年は役人は申合せて年賀狀を差出さないことにして居[illegible]

[illegible]は虎切手
凸版

賀正

臺北 米花伊太郎

林木土

咽喉ノ保護ニウガイ藥トシテ 家庭常備ウガイ藥 サンタス錠ヲオススメ致シマス
處方箋調劑 酒類 體溫器 特許販賣 醫化學 理化學 用藥品機械 メッキ 石版 銅版 用藥品 カメラ及材料現像燒付
ヒラノ藥局 臺北市新起町一丁目 電話五七八二番 振替四八六八番
局主藥劑師 平野文男 會計 平野壽子 調劑係 富樫富光 藥局係 藤沼直 醫療器械係 小幡文通 內勤 譜久山當智 賣藥係 富樫富雄 會計係 馮火田 內勤 劉國 同 劉碧玉 同 黃鳩濤 同 蘇王氏瑞枝

臺北市上奎府町三ノ三 臺灣製氷業同組合 電話二〇八五番 振替口座臺灣二九八三番

參茸燕桂 川漢藥材 丹膏丸散 高級製菓 臺北市永樂町四ノ一六 吉元藥行 製菓部 電話五五六二番 電話四八七七番

金錢兩替 臺北市永樂町四ノ一 裕成公司 電話四二〇六番

活版印刷 臺北市八甲町二ノ一八 山口商會 電話三九八〇番

機械工具機械 電氣材料金物 地計量器 臺灣總督府計量器特許販賣 臺北市新起町一丁目七番地 池田仲藏商店 電話長二四三八番

合名會社 山下商店 臺北市本町二丁目 電話長二三七・五五〇〇番

臺北市河合町一 臺灣爆竹煙火株式會社 電話武壹參七番

臺北市北門町一一番地 ライジングサン石油會社代理店 阿久澤商行 臺北出張所 電話三一〇二番

林應時顏窓吟
御料理 巖亭 電話一〇六番
石(?)炭[illegible]
傳興式會社 周錦樹
共益自動車株式會社
日本產業合資會社 羅東支店
永沼隆晉 基隆出張所 永沼靜夫
許景(?)[illegible]

青島の支那軍は

今年からは注連飾り
臺北市内本島人の新正月

ラヂオ

賀正

蓬萊商店

青島の支那軍は海州方面に退却

濟南の殘敵は兗州へ

【上海三十日發同盟】情報に依れば青島、高密方面の支那軍部隊は卅日退却を開始し、二手に別れて一部は日照嵐山頭を經て江蘇省海州方面に又一部はトラックによつて諸城より臨沂に向け何れも南方に向け續々退却中で、又濟南を敗退した敵は泰安より津浦線により兗州に集結中と言はれてゐる

青島市內の建物多數爆破さる

【ニューヨーク三十日發同盟】三十日青島發A・Pの電報に依れば青島市街の破壞情況に關し次の如く報道してゐる、三十日午後青島市內に多數の爆破が起つて

一、港內入口の造船所
二、管船局の事務所建物
三、港の內側に在る干場及び倉庫
四、日本の麥酒工場、多分大日本麥酒會社

等が爆破された、警察當局は飛行機の襲來に備へて燈火管制を嚴にし街上では銃劍に武裝を固めた警官が通行人を一々誰何してゐる

【ニューヨーク三十日發同盟】A・P上海電に依れば青島から上海へ避難して來たアメリカ人ジャクソン氏は青島の狀況を左の如く語つた

支那軍は青島から大部分撤退し現在千名位が殘つて日本人商人の財產を破壞してゐる、市內到る處で掠奪が行はれてゐるが警察は犯人をバスに滿載して大通りを引廻した上片端から機關銃で射殺してゐる

濟南の入城式

三十日午後擧行さる

【濟南三十日發同盟】三十日午後二時より〇〇部隊長の濟南入城式が擧行され日章旗の翻へる中を東門より入城し更に城內より商埠地に進み〇〇に入り茲に一同威容を整へ遙かに皇居を遙拜して乾杯を擧げ滯りなく式を終つた

雪の新高に生く奇蹟

沙里仙溪の上流で谷村君發見さる

きのふ正午疲勞體のまま

若人らしい意氣に燃えて冬の新高征服を志し不幸遭難した台北高校理科一年乙類谷村愛道君(一九)については逸早く現地に急行した同校河南山岳部長をはじめ、台中、台南兩州警察當局必死の搜査にも拘らずその後杳として行方判明せず同君の生存を絕望視するものもあつたが、警察當局では同君の遭難現場を周圍の狀況よりして新高登山路を去る約六十尺の通稱大滑りと稱する難所から沙里仙溪の方向に顚落したものとの判斷に基き、三十一日は早朝より多數の警察官が附近一帶を隈なく搜査した所午前十一時半に至り果して沙里仙溪上流にて氣息奄々疲弊しきつた愛道君を八通關駐在所から派遣された古木巡査部長一行により發見收容された、同君は數十時間に亙る辛苦困憊の結果疲勞甚しいが生命には別狀なき見込である

喜びの夫人語る

愛息の無事を知り谷村夫人を訪れると嬉しさを顏に現はしながら語る

私の方にも理蕃課の齋藤さんから沙里仙溪の上流で無事にゐることが發見されたと通知して下さいましたので家中で大喜びにひたつてゐるところです、主人からは未だ何も通知して來ませんから唯かし心配して探してゐることでせう、皆樣をお騷がせして本當にすみませんでした、子供は疲勞してゐるさうですが生命には別條ないといふことです、いろ〳〵と有難うございました

石田部隊

博山より南進

【濟南三十日發同盟】石田部隊先鋒は三十日午前十時博山北方十粁の大昆崙を占領、谷良民の第二十二師二千餘は博山附近に在つて抵抗したが、何れも擊破され西南方高地方面に潰走しつつあり石田部隊はその神速振りを發揮し續いて南方に進擊中である

廣東を猛爆

一箇月振りに

【香港三十日發同盟】我が海軍航空隊は三十日午前八時十五分廣九沿線東田、銀湖坳、鹽江口、樟行を爆擊し、更に同九時二十分廣九線樟木頭、塘頭廈等に爆彈を投下、次で同十一時五十五分我が〇〇台は一ケ月振りに廣東郊外に姿を現はし、河南、白雲山等に爆擊を加へた、支那側は高射砲、高射機關銃をもつて應戰したが、我方は更に機關銃の掃射を浴せつつ敵陣地に大打擊を與へ轟々たる爆音は久方振りに廣東全市を震駭した

徐州其他に巨彈

【上海三十日發同盟】海軍航空隊は二十九日津浦、隴海兩鐵路沿線に飛び津浦沿線にては徐州その他各驛の敵密集部隊及び貨車を爆擊し又隴海沿線にては碭山口、黎鋪附近の鐵路軍用貨物倉庫等に巨彈を浴せた

泰安驛を空襲

【〇〇根據地三十日發同盟】三十日午前七時半我陸の荒鷲島田山部隊は敵の退路を遮斷すべく再び重爆根據地を出發、泰山山麓の要衝津浦線泰安驛を襲ひ多大の損害を與へた

青天白日旗を灰にし

新政府支持を決議

基隆の華僑大會

【基隆電話】國民政府、蔣政權打倒、北支新政權絕對支持を目的とし、台北での全島華僑大會に呼應して立つた基隆在住華僑の中華民國臨時政權承認大會はやや豫定を早めて年の瀨の慌しい卅日午後二時半から福德町新高樓に於て既報の通り三原少佐、田部市助役、山內、和泉兩州議、顏、何、汪、蔡四市議、宮崎高等主任外軍官民多數臨席、華僑百五十七名出席のもとに開催された、參集者は何れも新政權參加の歡喜の色に輝いてをり式場正面には左に日の丸の旗を右に新政府の五色旗が掲げられ式場一杯に万國旗が飾られてゐる、定刻司會者陳廣川氏の發聲で一同起立、肅然として大日本帝國國旗に對し敬禮、更に五色旗に向つて敬禮を行ひ、續いて同氏より開會の辭を述べ我々は去る二十六日臺北市蓬萊閣に於て開催せられた全島華僑大會に列席せられた其の後在台中華民國華僑團體として和平論を全島に宣せる時政の下に蔣政權に服し、東亞樂土を目指とする中華民國臨時政權を承認支持する目的のもとに本大會を開催する次第であるとの挨拶あつて後滿場一致を以て陳廣川氏を議長に推選、拍手の裡に送られて議長席に着き左記大會決議文を朗讀滿場一致之を承認議決し各關係方面に打電、更に青天白日旗數枚を一束其の場で燒き捨てるなど臨時的光景を展開した

次いで來賓三原少佐、和泉州議、何市議氏より力強い激勵を含んだ祝辭あつて最後に劉運龍氏の發聲で大日本帝國万歲を三唱、更に李源氏の發聲にて中華民國新政權万歲を三唱して午後四時盛會裡に散會した

決議文

我等は中華民國臨時政府を支持承認し、國民政府蔣政權の羈絆を脫し東亞樂土の建設に協力を致さんことを期す

右宣言す

今年からは注連飾り

……臺北市內本島人の新正月……

臺灣神社參拜の交通取締

事變下に迎春し、新年の臺灣神社參拜者は戰勝祈願、皇軍武運長久祈願其他事變下に因み例年にない多數を豫想されてゐるが、大晦日の午後十時より一月三日午後十一時まで參拜者其の他に對し左の通り交通取締が行はれる

一、一般左側通行
二、期間中總督、軍司令官、總務長官等の公式參拜自動車(警衛自動車を含む)の外一切の車馬は大宮派出所大鳥居內乘入を禁ず
三、普通自動車乘用者は大宮派出所前に於て降車せしめ(必要に依りては動物園前に於て降車せしむ)各種乘合自動車乘用者は動物園前に於て降車せしむ
四、普通自動車は大宮派出所前に十臺を限り客待せしめ、其の他の車輛及乘合自動車は乘客を降車せしめたる後士林街道を運行し、神社裏參道下方道路(淡水街道)左側に停車客待し先着車より順次發車せしむること
五、參拜者は神社に赴く際は參道より歸路は裏參道を通行する事
六、團體の徒步參拜者は歸路劍潭寺脇より大直道路に出て大宮派出所裏より明治橋間側步道を通行すること

ラヂオ

一日

◇…午前の部…◇

【五・三〇】黎明(東京)『東天紅』(東京)
【五・五〇】勅題朗詠(名古屋)神苑…伊勢皇大神宮神苑より中繼
【七・三〇】ラヂオ體操(臺北)
【八・〇〇】ニュース(臺北)
【八・三〇】全國氣象通報(東京)
【九・〇〇】吹奏樂(臺北)年頭の挨拶…臺灣放送協會理事長 泊武治 唱歌「君が代」
【一〇・〇〇】新年奉祝の時間(東京)一、齊唱「君が代」二、「四方拜」三、合唱「一月一日」四、合唱愛國行進曲(內閣情報部選定、AK交響樂團)
【一〇・二〇】謠曲(東京)勅題 神苑 外一曲

◇…午後の部…◇

【一一・五九】正午の時報(東京)官廳ニュース、ニュース、氣象通報(臺北)
【一・二〇】新日本音樂(東京)神苑(宮城道雄譜曲)外一曲…宮城道雄及同社中
【二・一〇】新春風景(大阪)『初夢國民使節』(山下良三作)

二日

◇…午前の部…◇

【七・三〇】挨拶、體操、音樂レコード
【八・〇〇】ニュース(臺北)
【一〇・〇〇】講演(東京)年頭にあたりて…東京市長小橋一太、新年の致詞…加賀町室
【一〇・三〇】新春吟詠名歌選(大阪)

◇…夜間の部…◇

【五・二〇】ニュース(臺北)
【六・〇〇】子供の時間(東京)
【六・三〇】特別講演(東京)非常時新年を迎へて…內務大臣海軍大將末次信正
【七・〇〇】子供の時間(臺北)
【七・二〇】ニュース(臺北)
【七・三〇】年頭の辭(上海より)松井軍司令官、長谷川艦隊司令官
【七・五〇】詩吟(熊本)
【八・一五】長唄(東京)鶴三番叟
【八・二五】舞踊劇(東京)愛國行進曲
【九・二〇】時報(東京)
【九・二五】長唄(臺北)石橋

【一一・〇〇】基隆入港時刻及び接續列車時刻

◇…午後の部…◇

【一一・五九】正午の時報(東京)基隆入港時刻及接續列車時刻
【〇・四〇】ニュース(臺北)氣象通報(臺北)
【一・〇〇】弾き初め(東京)
【一・五〇】漫談(東京)(臺北・臺中)初夢
【二・二〇】講談(東京)(臺北・臺中)三方目出鯛
【三・〇〇】ニュース(臺北)
【三・二〇】福建語ニュース(臺北)
【五・三〇】ニュース(臺北)

◇…夜間の部…◇

【六・〇〇】子供の時間(東京)
【七・〇〇】子供の時間(臺北)
【七・二〇】ニュース(臺北)
【七・三〇】合唱(東京)愛國行進曲
【七・四〇】浪花節(東京)
【八・二〇】落語(東京)
【八・四〇】漫才(大阪)
【九・〇〇】常磐津(東京)
【九・三〇】時報(東京)
【九・三二】謠曲(臺北)

ローカル 【自一・五〇至三・〇〇】野球試合實況(臺南のみ)南部中等學校野球大會實況(第一日)…臺南市野球場より中繼

職場女性群の正月

"元旦のお客樣三千 妾達は働きお正月"

公會堂食堂のサービス嬢

皇紀二千五百九十八年、事變下の新春だ!わが帝國が大躍動する新しい時代の黎明!先づ白雪と紫苑の戰野に活躍する皇軍將士の健勝と武運の長久を祈らう

そして銃後國民の責務の益々重加するとき正月だとて休む暇なくお役の女性の務めを守つてその多忙さのうちに青春を謳歌し人生を築く職場女性群の正月をのぞき、職場から聞いて來る女性の進軍ラッパを聞いて銃後のわれ〳〵は益々非常時意識に目覺めこの勇壯活潑なるラッパに合せて前進しよう

事變下の迎春とは云へ、それでも、どこかに昂然の聲がほんのり漂ひ少女らの打つ羽子板の音も長閑けく、天に地に何かしら全てに落着いた氣分が感じられるのも矢張り一切を去年と云ふ歷史の彼方に押しやつた元日の持味であらう、だが、かうした元日の氣分は、一步公會堂に踏みこんで食堂に入れば忽ち吹き飛んでしまふ、そこには生活戰線の勤勞の息吹きが荒れ狂ひ、只一重を隔てて外部とはまるで違つた職場のさうした雰圍氣である

◇……◇

內部は押すな押すなのこの賑ひ『ランチ願ひます』『コーヒー』と呼び合ひ、交錯するお客と食堂ガールのコーラス、フォークと皿の音がかちやつく、其の間を縫ふやうにして驅け廻つてゐるサービス嬢たちの敏捷さ、公會堂食堂元日のお客ひとときこそ、正にもいみじけき奮闘の千圍である

『妾達には正月もなにもないわ、あるものは働きのみ』と元日そこのけで職場に精勤する食堂ガール諸嬢に感想を求めれば

と叫びたくなる

「ここで」は階下一般食堂と階上食堂とで現在二十名のガール達が働いてゐる、何れも十八、九歲から二十四、五歲位、アベックに若き命を燃燒し、饑餓の襲ひに未來を夢みる結婚適齡期のガール諸嬢の青春を惜みなく奪ふは、食はねば生きてゆけない人間の宿命故と思へば、それと知るや知らずやパクツイてゐる人間性のあさましさに感想が湧きさる、と云つて、"人間は食ふものなり"の命題が止揚されない限り食堂—食堂ガール女子の低賃金が存續する限り—の青春が惜みなく讃せてゆくのも、是れ又一の必然である

◇……◇

『今日は馬鹿に忙しいね』『忙しいたつたらありやしないわ、新年交歡會が千七、八百人もの一般食堂だつて何時もの通り一杯だわ』

成るほどニュース映畫や事變展覽會の流れや其の他で百五十の椅子は全部ふさがり、へし合ひ揉み合ふの盛況振りである

『今日は千五百人くらゐお客が入るでせう』とマネヂヤー氏の顏はいとも朗かである

『苦しくない』『そりや辛いわ、けど馴れてしまふとそんなにもないわ』

「開店が」午前十時、閉店を午後十時、掃除其の他の關係で一日の勞働時間は先づ十二時間、尤も交替に廻つてくる宴會場係りになると少しは樂しい、收入は固給に宴會のチップ其の他で平均二十四五円とみた

◇……◇

『サラリーどう?』『それはわからないわ、でも白粉代位のものよ』『お休みは元日なしだわ、お休み日(月)は何うする?』『映畫を觀に行くわね』… [illegible]

は實に微に入り細を穿つてゐる

『結婚みて惱やましくはない』『見慣れると何ともないわ、でもお似合の新郎新婦をみると羨やましいけど、祝福して上げるわ』『私達は一度として自分の職業におち目を感じたことはありません、お客樣に接する時は、上品と親切!事を忘れず、一舉一動にも心を配り、少しも惡感情を與へぬよう、心からなるサービスに努めて働いてゐます』

「職業の」神聖を高調する現代女性の勇氣と智慧、それは全く働く者のみが體得する信條だ、職場の女性の意識の目覺めこそ、職業戰線に於て男性より、朝に一步を取り、夕に一步を拔く、女性群の進軍のラッパに外ならない

◇……◇

最後に警備、彼女等の最も嫌なのは"皮肉な人"條りにも命令的に御注文なさる"お客"だそうですから

では"働かざる者は食ふ可らず"職業戰線の食堂ガール諸嬢に、昭和十三年よ萬歲あれ(寫眞は臺北市公會堂食堂新春の賑ひとサービス嬢)

お正月の天氣

臺北地方は曇

輝やかしき昭和十三年の新春を控へ大晦日の十二月三十一日には四五日間續いて來た好日和と打つて變り氣溫は溫暖ではあるが朝から鬱陶しい天氣模樣となつてゐるが一月一日以後の天氣は果してどうであらうか?台北測候所の豫報によれば一日の台灣一帶の天氣は北部が北東の疾風曇時々雨、東部が北の和風曇一時雨、西部南部が北の和風曇一時晴、臺北地方が北東の和風曇時々雨となつてゐるが、之は琉球北部海上に通稱弗坊子と稱する小低氣壓が發生してゐるのを豫想したもので、即ち三十一日の天氣圖によれば七七四ミリの高氣壓は蒙古方面にあり徐々に南東に移動しつつあるが未だ露西に遠く、それに氣壓線も極く緩慢であるため直接に高氣壓としての影響を與へるに至らず唯琉球北部近海に發生した七六二ミリの小低氣壓のみが天氣模樣に作用し全島に前記通りの天氣を齎らすものと豫想したもので從つてこの小低氣壓が完全に北部海上を通過しない限り二日も三日も一日と大差なき天氣模樣を示すものと見られてゐる

臺大の田中教授渡比

台北帝大の田中長三郎教授は、比律賓視察に向ふべく、多分一月三日基隆發のシカゴ丸にて出發する事になるであらうと

離臺の肥後中佐本社宛に挨拶電

三十日の蓬萊丸で離台した肥後市次中佐から三十一日本社宛に次の樣な挨拶電があつた

いろいろ御世話樣になりました厚く御禮申上げます昭和十三年の益々多難多事なるを思ひ皆樣の一層の御健鬪と臺灣の躍進を祈つてやみません、一々御挨拶出來ぬ無禮を謝す貴紙を通し宜しく御傳へ願ひます

肥後市次 テル

二日の初荷

時節柄多くは遠慮

商圈の年末大賣出しは押詰つて天候に惠まれ人出も多く相當活況を呈し雜貨用商品等の動きは例年と大差ないほどであつたが、[illegible]押詰つて思はぬ出荷があり大晦日までには殆ど昨年末の實績に追隨する結果を收めた、二日は台北專賣支局管內の酒類煙草賣捌人の主催で初荷を繰出すことになつたが他の會社商店は時節柄一般に遠慮氣味にて東光株式會社の如き台中花蓮港向けのものは大晦日に台北を積出し四日に配給する外市內向けの石鹼、工業藥品等もトラック三台とオートバイ二台で四日に配給し、森永販賣會社は六日の仕事始めに市內、地方向けの菓子、煉乳等を例年以上に荷出しする豫定で華美にはやらず、例年華々しく初荷を出す新高製菓は今年だけは二日の初荷を見合すことにしたさうである

會葬御禮 桑山修助

喪中(長男明敏死亡)に付年始の御挨拶御遠慮申上候 臺中州南投郡南投街 父 鮫島勝信 妻 ヤヱ

大阪商船 臺灣出帆
◎基隆出帆(△印船客お斷り)
門司神戸行 高砂丸 一月六日午前十時 蓬萊丸 一月十三日午前十時
香港行 香港丸 一月二日正午
上海行 長沙丸 一月九日午後一時
鹿兒島、長崎、大連、北鮮行 河南丸 一月十三日午後四時
沖繩行 盛運丸 一月六日午後四時
蘇澳、花蓮港(大球丸) 一月一日午前十時
台東行(めなど丸) 一月八日午前十時
高雄比律賓行 しかご丸 一月二日午前八時
西貢盤谷行 ばたびや丸 一月四日正午
タワオ爪哇行(南洋海運) マカツサ丸 一月七日正午
◎高雄出帆 香港行 香港丸 一月四日午後兩時 馬公行 廣東丸 每奇數日午前十時 東京直行△臨彭丸 一月八日午前
其他船便多數アリ 臺北電五八五〇

近海郵船 基隆出帆
門司神戸行 大和丸 一月二日午後五時 富士丸 一月九日前十時發
上海內地行 伏見丸 一月五日前九時
香港廣東行 箱根丸 一月廿六日正午

辰馬汽船 出帆
平榮丸 一月二日 基隆入港
桐葉丸 一月十日 入港

大連汽船 基隆出帆
大連直行 山西丸 一月十五日
丸一組 [illegible]

祝戰勝新年 本年も相變りませず、倍舊の御引立を御願致します。臺北市太平町一 電話三二五一番 楠田屋

賀正

三宅オフセツト印刷 臺北市新起町二ノ一七 電話七一四〇番

石炭採堀販賣 金採掘買收業 瑞芳 合資會社 東和商行 電話四番 代表社員 劉尚 專務 蕭參 會計 蘇塗城

海山郡中和庄役場 庄長 吉田道定 助役 游火金 會計役 呂芳德 職員一同

保證責任 中和信用販賣購買利用組合

豐原郡下產業組合員一同

金爪石鑛山御用達 村西洋品店 臺北市児玉町

瑞芳鑛山 胡文珍

新化郡獸肉營業組合

新莊街長 千葉授 新莊街助役 鄭福仁 新莊街會計役 胡斐 外職員一同

新莊劇場 活動寫眞常設館 臺華映畫公司 郭大水

恒春郡守 水崎格 庶務課長 高橋用吉 警察課長 石丸卯六

恒春庄長 鷲田彌四郎

車城庄長 許順吉

滿州信用購買利用組合長 滿州庄長 余雲祥

恒春信用購買利用組合長 許清諧

車城信用購買利用組合長 董清吉

新春の黎明を破つて燦たり此豪華番組 東和商事提供 巨匠ジュリアン・デュヴィヴィエ監督 巨人ゴーレム 東和商事提供 ゴーモン超特作 三十九夜 元旦々堂々封切 永樂座

萬華貸座敷組合 萬華芳明館 電話二一六三番

ウエス 糸屑 毛糸原料 製綿原料 製紙原料 海外輸出入 臺北局私書函第一七四號 蓬萊商店 臺北市宮前町八番地 電話四九四六番

瑞芳鑛山山皮坑請負 陽山公司 理事長 番宏 理事 顏蒼 理事 郭水 監事 陳天生海水

金爪石礦山水南洞 村上組 村上勝右衛門 本店 基隆市日新町二ノ八

金爪石礦山水南洞 伊東組 菊池勇治郎 本店 臺北市

金爪石礦山水南洞 田村組出張所 本店 臺北市

金爪石郵便局長 村田早苗

金爪石木工場 清池組 清池貞治

臺中市榮町(元つたや旅館跡) 衛生本位 親切第一 浪花旅館 浮田シズ 電話一〇九七番

嘉義 津久井牛二郎

嘉義 大津義人

嘉義市 加土紙店 電話二一番

嘉義市 カフエー スズラン 電話七三〇番

嘉義 徐乃庚

嘉義齒科醫師會

嘉義 酒井耳鼻咽喉科醫院 電話九一三番

臺南州米穀商同業組合 嘉義市

株式會社 嘉南商行 嘉義

財團法人 嘉義地方自動車振興協會 自動車部

謹賀新年
嘉義郡水上庄長 畑山丑藏
嘉義郡民雄庄長 安部俊亮
嘉義郡新巷庄長 瀧野平四郎
嘉義郡溪口庄長 張早
嘉義郡大林庄長 藤本大藏
嘉義郡小梅庄長 木村勝
嘉義郡竹崎庄長 長野鶴吉
嘉義郡番路庄長 金子幸三郎
嘉義郡中埔庄長 松田鐵太郎
嘉義郡大埔庄長 高橋清五郎

嘉義 三浦寫眞器具店

喪中ニ付新年ノ御挨拶ヲ差控申候 臺北市馬場町四ノ七 [illegible]